

令和3年11月16日（火）「燕三条 工場の祭典」見学

～地域理解及び観光ビジネスへの活用～

11月16日（火）1限から2限にかけて、創造ビジネスコース2年生の生徒が「燕三条 工場の祭典」を見学しました。学校設定科目「プランニング」の授業の一環として、科目担当者が2名引率しました。

「燕三条 工場の祭典」は、燕三条及びその周辺エリアの工場を開放してものづくりの現場を体感するイベントであり、燕三条ファクトリーミュージアムで展覧会形式で開催されます。

今回の校外学習の目的は、①地域理解、②地域連携、③進路意識啓発 でした。

特に、新型コロナウイルス感染症拡大収束後を見据え、地域理解をベースにした地域との連携につながる材料を見つけること、また、新学習指導要領で新設される商業科目「観光ビジネス」において、ツアープランニングの一環として地域資源の理解を進めることを主なねらいとしました。

～ 見学後の生徒の感想から ～

- ・最初は興味はなかったけど、職人さんの話を聞いていくにつれて興味を持つことができ、とても良い経験ができました。
- ・チラシのメインデザインとなったピンクは、火の色ということを知って、細かい部分にもこだわっているのだと興味を持った。
- ・地域の活性化のためにこのような活動は必要だと感じました。
- ・金属加工が発展していった背景と、その技術を知ってとても興味が湧きました。
- ・こういったイベントにもっと積極的に参加してみようと思った。
- ・金物の良さ、凄さ、職人さんの偉大さなどが、独特な陳列法だったり、迫力ある映像で表されていて興味を持てた。
- ・案内してくれた方の説明がとても分かりやすく、すらすら内容が頭に入ってきた。
- ・地元の良さを積極的に発信している、今回のようなイベントを自主的に見つけて参加していきたい。
- ・小・中と工場見学はしていたが、今日初めて商業的な目線で見てもっとこのイベントを地域に広めたいと思った。
- ・なかなか地域のイベントに参加する機会がないので、授業を通して参加できて多くの収穫があった。こういったイベントにどんな工夫がされているか目を凝らして見る事ができた。

